

チャールズさん、今日はこのような素晴らしい機会を作っていただきありがとうございます。

このような素晴らしい専門家たちのプログラムを企画した丸山さんありがとうございます。

1. 研究

本日は、温泉水を用いたメデシンである熱医学の利点に関するフランスの研究の成果を紹介したいと思います。

過去 18 年間の私の経歴は、スパ&ホスピタリティ業界でアドバイザー、イノベーター、教育者として勤めて来ました。

私は常にチームの創造性を高め、ゲストエクスペリエンスを高めることに焦点を当ててきました。

これらの多くのロゴからわかるように、私はスパ業界で非常に活発でまた、情熱的に動いてきました。

それは、たぶん私がフランス人だからか、さもなければ、

私たちの業界が情熱的で革新的であるのに値するせいなのかもしれません。

多くの人々は、フランスはワインやシャンパンでよく知られていると思いますが、今日は水、特にフランスの温泉水について話します。

フランスの医療制度では、医師によって 3 週間の温泉治療を処方されたときに

温泉治療費用の 3 分の 2 を支払うことになっています。

治療される主な条件は、リウマチ、呼吸器、フレーブロジー（静脈関係）および消化関係である。

2004年、フランスでは、1人(治療を受ける人)が3週間温泉水を飲むたびに、国内にある110のセンターのそれぞれがAFREThと呼ばれる組織に研究のために2ユーロを支払うことに決めました。

目的は、温泉水によって治療を受ける医療サービスを証明することです。

2004年以来、AFREThは1,300万ユーロ(1,400万米ドルまたは15億円)以上を投資する51の研究プロジェクトに資金を提供しました。

これらの51の研究のうち、私は四つのプロジェクトに焦点を当てたいと思います:

* **STOP-TAG** は、心身の状態を治療する薬物に対して温泉水の利点を研究しました -

5人中1人の患者は、彼が6ヶ月までの間、持続的な効果を持った温泉水で完全に治癒されたように感じたと言いました

- 患者(温泉水で治療を受けた人)の半分以上は、彼らの不安は温泉水で半分に減少し、使っていた薬パロキセチンではわずか28%であると言いました。

* **THERMARTHROSE**、膝関節炎に対して

今までの古典的な治療法に対し温泉医療サービスに焦点を当てました:

- 4つのケース中の1つのケースのキュアは、最大9ヶ月の温泉水の治療で永続的な改善を感じました

- 治療を受けた人の半分は、彼らの今までの動きのよりも良い動きの範囲を感じ、温泉水で痛みが軽減されたと言いました

* **体重過多と肥満に焦点を当てた MAATHERMES:**

- 10人中6人の温泉治療を受けた人の体重の少なくとも5%減りました。

- そして14ヶ月後の平均体重減少は5kgで、これは他の研究グループの10倍以上の効果であります。

第4の研究では、PACTheは、衛生と栄養学の古典的なフォローアップと比較して乳癌の寛解における女性の治療に焦点を当てました、

ここで私はイヴ=ジャン・ビヨン教授の連絡先を紹介します。

この方は睡眠の質の劇的な改善を生み出したフランスの治療プログラムを設計した人です。

最大12ヶ月までの間、温泉水で生活の質の大幅な改善とうつ病の症状の減少されました。

これらの4つの研究で、公開された結果よりもっと深く知りたい場合は、皆さまがコンタクトしたいデータへのすべてのリンクをプレゼンテーションに含めました。

温泉水の実証済みの利点についての結論として、

私は、腰痛の治療に関する1つ、線維筋痛患者のための1つ、および多発性硬化症に関する1つを含む、より多くの研究が今現在進行中であることをお知らせしたいと思います。

温泉メデシンに関する追加情報については、メデシン・サーマルのエグゼクティブ・オフィサーであるクロード・ユージーン・ブービエ氏にお問い合わせください。

ゲストエクスペリエンスの向上に関する内容をよりもっと知りたい場合は、私の電子メールでお問い合わせください。

2. イノベーション

これから新しい若い顧客層を引き付けることで、マーケティング、コミュニケーション、セールスに大きな影響を与えるため、素晴らしいイノベーションをしている温泉の町の2つの例を紹介したいと思います。

最初の革新は、フランスの中心部に位置する「温泉地への道」と呼ばれる 17 か所の温泉地が位置する所です。

彼らは「バスローブ中毒者」と呼ばれる組織を思いつきました。

この組織は、バスローブで楽しく快適なライフスタイルを推進しています。

もちろん、サーマルセンターに入ると服を脱いで水着やバスローブを着ますが、サーマルセンターに入っていない人のライフスタイルにまで広めるのがその目的です

そのため、9月の第3週末に開催されたワールドウェルネスウィークエンドでは、98カ国で2,356の会場が開催され、地元の企業や店主にバスローブを着用するよう奨励しました。

これらの写真で見てわかるように、パン屋、地元のカフェだけでなく、人々はバスローブでゴルフをしたり、バスローブでヨガや太極拳を練習したり、バスローブでマウンテンバイクまでもします。その時は念のためにヘルメットを使用することをお勧めします...

私が今日紹介したい2番目のイノベーションでは、サーマル製品では見逃されがちな楽しい要素です。これは生理学的な理由からも大きな要素になります。

水中でスポーツやマインドフルなアクティビティをするだけでなく、楽しみの要素を追加し、特に「ウェルネスバディ」と呼ばれる友人と練習することです。

ヨガはマットが有る部屋の中で行うばかりではなく、また SUP ヨガやリキッドヨガと呼ばれるフロート可能なマットで行うことも出来ます。

ズンバで汗をかくことができますが、ウォーターズンバで水しぶきを上げることもできます。

最後の写真は最近の技術革新ではありませんが、これは水の下で音楽を聴くのを助ける液体サウンドと呼ばれるマリオン・シュナイダーとミッキー・リーマンによる最も有意義な革新の一つであると思います。

このシステムはドイツの温泉センターのトスカナワールドでそれを実際に運営しています。